

スポーツ学部 スポーツ学科 カリキュラムフローチャート(2025年度以降入学生)

区分		1年次		2年次		3年次		4年次		最低修得単位数	卒業要件 単位数
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
総合 共通科目	教養教育科目	文化・芸術領域：●ことばと日本文化[2]、●スポーツの文化[2]、●ことばと異文化[2]、●情報文化論[2] 歴史・社会領域：●歴史と国際情勢[2]、●現代国家と法(日本国憲法)[2]、●暮らしと経済[2]、●人権・同和教育[2] 人間・環境領域：●人間と哲学[2]、●生命と地球[2]、●心の科学[2]、●共生社会を生きる[2]								6単位以上 (各領域2単位以上)	30単位以上
	言語・異文化 理解科目	●英語Ⅰ[1] ●中国語Ⅰ[1] ●韓国語Ⅰ[1]	●英語Ⅱ[1] ●中国語Ⅱ[1] ●韓国語Ⅱ[1] ●日本語表現法Ⅰ[1]	●英語コミュニケーションⅠ[1] ●中国語Ⅲ[1] ●韓国語Ⅲ[1] ●日本語表現法Ⅱ[1]	●英語コミュニケーションⅡ[1] ●中国語Ⅳ[1] ●韓国語Ⅳ[1] ●日本語表現法Ⅲ[1]	●実用英語[1] ●実用中国語[1] ●実用韓国語[1]				5単位以上	
	情報教育科目	◎データサイエンス入門[1]	◎情報処理演習Ⅰ[1]	●情報処理演習Ⅱ[1]	●情報処理演習Ⅲ[1]					2単位以上 (必修2単位)	
	キャリア教育科目	◎キャリア基礎演習Ⅰ[1]		◎キャリア基礎演習Ⅱ[1]	◎インターンシップ(企業研修)[2]	◎キャリアデザインⅠ[1]	◎キャリアデザインⅡ[1]			5単位以上 (必修5単位)	
専 門 教 育 科 目	学部共通科目	◎解剖生理学[2] ●スポーツ運動学(運動方法学を含む。)[2] ◎スポーツ指導論[2]	◎スポーツ生理学[2] ●スポーツバイオメカニクス[2] ◎スポーツ社会学[2] ●スポーツ心理学[2]	●安全・健康管理[2]	●スポーツ栄養学[2]	●体力トレーニング論[2]		●レクリエーション論[2]		22単位以上 (必修8単位)	124単位
	学科共通科目	●衛生学及び公衆衛生学[2]	●テーピング実習[1] ●健康フィットネス論[2]	●健康づくり運動理論[2]	●救急対応実習[1]	●スポーツ統計学[2] ●運動生理学実験[1] ●スポーツ動作解析法[1] ●スポーツカウンセリング論[2] ●生活習慣病理論[2] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅰ[1] ●キャリアアドバンスA T養成Ⅰ[1] ●キャリアアドバンスA T養成Ⅱ[1]	●発達発達老化論[2] ●スポーツクラブのマネジメント[2] ●運動プログラムの管理[2] ●健康栄養指導演習[2] ●キャリアアドバンス公務員養成Ⅱ[1] ●キャリアアドバンス教員養成Ⅱ(中・高)[1] ●キャリアアドバンス教員養成Ⅱ(小・高)[1] ●キャリアアドバンス健康指導者養成Ⅰ[1] ●キャリアアドバンスA T養成Ⅲ[1] ●キャリアアドバンスA T養成Ⅳ[1]	●スポーツの歴史と文化[2] ●キャリアアドバンス教員養成Ⅱ(中・高)[1] ●キャリアアドバンス健康指導者養成Ⅱ[1]	●健康産業施設実習[2] ●キャリアアドバンスIA(TI-ATI)養成[1]		
	アスリートマネジメントコース		●アスリートマネジメント概論[2]	●コーチング各論A[2] ●トレーニング計画論[2] ●レジスタンストレーニング実習[1]	●コーチング各論B[2] ●コーチングシステム論[2] ●メンタルトレーニング演習[2]	●コーチング実習[1] ●スポーツコミュニケーション論[2] ●スポーツパフォーマンス測定実習[1] ●地域スポーツ論[2]	●スポーツゲーム分析演習[2] ●アダプテッドスポーツ演習[2]	●スポーツ戦略論[2] ●スポーツ栄養マネジメント演習[2]	●アスリート栄養実習[2]		
	スポーツ教育コース	●養護概説[2]	●スポーツ教育概論[2] ●予防医学[2] ●看護学Ⅰ[2]	●社会体育論[2] ●ジュニアスポーツ論[2]	●学校体育のマネジメント[2] ●学校体育指導演習[2] ●学校保健Ⅰ(学校安全を含む。)[2] ●ジュニアスポーツ指導演習[2] ●看護学実習Ⅰ[1] ●健康相談活動[2] ●栄養学(食品学を含む。)[2] ●精神保健[2]	●器械運動指導法(体づくり運動を含む。)[1] ●水泳指導法[1] ●ダンス指導法[1] ●学校保健Ⅱ(小児保健を含む。)[2]	●陸上競技指導法[1] ●球技指導法A[1] ●球技指導法B[1] ●武道指導法[1] ●学校保健指導演習[2]	●臨床実習Ⅱ[2] ●臨床実習Ⅱ[1]			
	スポーツトレーナーコース		●アスレティックトレーナー概論[2]	●機能解剖学Ⅰ[2] ●スポーツ外傷・障害論Ⅰ[2] ●コンディショニングⅠ[2] ●検査・測定と評価[2]	●機能解剖学Ⅱ[2] ●スポーツ外傷・障害論Ⅱ[2] ●コンディショニングⅡ[2] ●スポーツ外傷・障害の予防[2] ●アスレティックトレーニング現場実習Ⅰ[1] ●アスレティックトレーニング現場実習Ⅱ[1]	●コンディショニングⅢ[2] ●リコンディショニングⅠ[2] ●アスレティックトレーニング現場実習Ⅲ[1] ●アスレティックトレーニング現場実習Ⅳ[1]	●リコンディショニングⅡ[2] ●リコンディショニングⅢ[2] ●スポーツ内科学[2] ●アスレティックトレーニング現場実習Ⅴ[1] ●アスレティックトレーニング現場実習Ⅵ[1]		18単位以上 (所属コース)		
	スポーツ政策コース		●スポーツ政策概論[2]	●スポーツ政策各論[2] ●スポーツ組織論[2] ●生涯スポーツ論[2]	●地域スポーツ政策演習[2] ●生涯学習と社会体育[2]	●生涯スポーツと社会体育の指導者[2] ●生涯学習支援方法論[2] ●スポーツ社会教育実習[2]	●生涯スポーツと社会体育の計画・立案[2] ●生涯スポーツと社会体育の経営[2] ●ボランティア活動と生涯スポーツ[2]	●地域スポーツ指導実習[1] ●スポーツ社会教育演習[2]			
	ゼミナール科目			◎ゼミナールⅠ[2]	◎ゼミナールⅡ[2]	◎ゼミナールⅢ[2]	◎ゼミナールⅣ[2]	◎キャリア発展ゼミナール[4]		必修12単位	
	スポーツ実技科目	●体操(体づくり運動を含む。)[1] ●陸上競技A[1] ●バスケットボール[1] ●サッカー[1]		●器械運動[1] ●陸上競技B[1] ●水泳[1] ●バレーボール[1] ●バドミントン[1] ●ダンス[1] ●剣道[1] ●柔道[1] ●エアロビクダンス[1] ●ハンドボール[1] ●ラグビー[1]	●健康づくり運動実技[1] ●アクアエクササイズ[1]	●ソフトボール・野球[1] ●テニス[1]	●レクリエーション実技[1]			4単位以上	
	自由選択科目	教職課程関連科目、K-CIP関連科目、他学部・他学科等の科目								18単位以上	

卒業認定・学位授与の方針
(DP)

スポーツ学科は、総合的な教養、ス
ポーツ分野での多様な専門知識を身
に付け、幅広い教養かつ専門性を併
せ持ったスポーツ指導者・健康づく
り指導者を養成することを目指す。
この基本理念をもとに、以下を満た
した学生に卒業を認定し、学位を授
与する。

【知識・技能】
学士（スポーツ学）として相応しい
幅広い教養を身に付け、総合的なス
ポーツ指導・健康づくりの学問体系
の基礎を理解し、専門知識と技能を
身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】
実社会で必要となる教養、および専
門分野の知識・技能を用いて、職業
人として適切な企画・計画力、的確
な判断力を有し、それらを実践でき
る力を身に付けている。また、礼節
を重んじ高い力量をもつスポーツ指
導者の素養を身に付け、地域社会の
中で率先して行動できる力を身に付
けている。

【主体性・協働性・倫理性】
専門性を併せ持ったスポーツ指導
者・健康づくり指導者として、高い
倫理性をもって自らを律し、主体的
に物事を考え、自己の判断と責任を
持って行動する力を身に付けてい
る。また、地域や社会の一員とし
て、自ら進んで他者との協働を通
じ、積極的にボランティア活動等を
実践し、社会貢献できる力を身に付
けている。